



平成 29 年 5 月 9 日

各 位

広島市安佐南区祇園 3 丁目 28 番 14 号
株式会社 アスカ ネット
代表取締役社長兼 CEO 福田 幸雄
(コード番号：2438 東証マザーズ)
問合せ先：常務取締役 CFO 功野 顕也
電話番号： 082 (850) 1200

樹脂製 AI プレート生産の方向性について

当社はエアリアルイメージング事業において、空中結像を可能にするプレート（以下、AI プレートといいます）の量産を重要課題として取り組んでおり、平成 28 年 4 月期決算説明資料に記載しましたとおり、樹脂製の AI プレートの生産方法につきまして、ガラス製 AI プレートと同様の手法か、新しい手法かのいずれかに絞り込む方針とさせていただいておりましたので、樹脂製 AI プレート生産の方向性につきまして、お知らせいたします。

1. これまでの経緯について

当社はガラス製 AI プレート、樹脂製 AI プレートそれぞれについて量産技術の確立に向け取り組んでまいりました。ガラス製 AI プレートにつきましては、高品質かつ大型のプレートがある程度の数量を生産できておりますものの、コスト面の課題が残っております。

一方、樹脂製 AI プレートにつきましては、ガラス製と同様の方法と、全く新しい方法の両面から量産技術を模索してまいりました。ガラス製と同様の手法では、小型ながらも試作品は出来上がっておりますが、結像品質、大きさ、コスト面でまだ十分な状態になっておりません。新製法では、様々な技術、会社と取り組んできましたが、技術的課題をなかなかクリアできず、想定以上の時間を要してまいりました。

2. 優先順位について

上記のとおり、樹脂製 AI プレートの新製法につきまして、様々な方法をトライし、試作を重ねてまいりました。

このたび、量産を前提とした製法により、一定程度の品質を確保した試作品が出来上がり、品質やコストなどまだ不確実な部分があるものの、量産の可能性が出てまいりました。

従いまして、これまで、樹脂製の AI プレートにつきましては、ガラス製と同様の方法と新製法との両方を模索してきましたが、今後は当該新製法による量産の確立を優先的に取り組む方針いたします。



3. 量産に向けて

一定程度の品質を確保した試作品は出来上がりましたものの、本格量産に向けては、品質のさらなる向上、安定した量産技術や効率的な量産体制の構築、市場ニーズに合った製造コストの実現などの課題があります。現時点では量産に向けたスケジュールを明確化できる段階にはありませんが、少しでも早く市場投入ができるように取り組んでまいります。

4. エアリアルイメージング事業の方向性

ガラス製 AI プレートは、相対的に高価ではありますが、高い結像品質や大型空中結像を実現しており、特にサイネージ分野ではその強みを発揮できると考えております。一方、樹脂製 AI プレートは、結像品質はガラス製に比べ若干劣るものの、量産体制が構築できれば、低コストかつ多量の供給が可能となり、センサーとの組み合わせなどによる組み込み製品での活用が見込まれます。

従いまして、ガラス、樹脂それぞれの素材の特性を活かしたマーケティングを進めてまいります。

5. 今後の見通し

本量産技術が確立し、平成 30 年 4 月期の業績への影響が生じる可能性があれば、速やかに公表いたします。

以 上